

# 郷土の 夜空に 響け

たたきつけるような豪雨をものともせず、  
夜空に花火が輝いた  
愛する故郷への思いが宿った輝き  
その場にいた誰もが、一生忘れることのできない景色を  
心に刻んだ

8月13日、巖原町小茂田浜で「佐須まつり2012」が開催されました。  
今回の「next döör」は、まつりを開催した「佐須響心会」の熱い夏を追いました。

# 佐須を良くしようというのは、最終的に対馬が良くなること



佐須響心会  
杉村智律 会長

地域に住む子どもからお年寄りまでみんなに喜んでもらえるものが何かできないか。それが「佐須に花火を上げよう！」でした。

佐須響心会は、佐須の地域おこしを目指し3年前に発足。合言葉は「郷土の心みんなに響け」です。地区の清掃や佐須ロードレースへの協力、つしま蒙古太鼓の演奏などの他、先日は、厳原港まつり対馬アヒラン祭の通信使行列と舟グロ、曲の盆踊りイベントにも出演しました。

現在会員は約80人。島外会員も少しずつ増えてきました。今回、これだけ大掛かりなイベントを地域単位



で開催するには困難もありました。まず資金ですが、なるべく行政に頼らず地域の皆さんの寄付でまかなうことを目指し、佐須の525世帯を一軒一軒訪問し、励ましの声と寄付金をいただきました。また、佐須まつり実行委員会を立ち上げ佐須響心会だけでなく地域の若い人たちの協力をいただきました。花火の音も色も輝きもすべて佐須のみなさんが作りあげたもの。だからこそ笑顔も喜びも倍になります。帰省しやすいお盆に開催したのはふるさとが頑張っている姿を島外の佐須出身者に見てほしかったから。本気になればどうにかなるもので、ポスターやステージづくりは自前。学校や保育所も道具の貸出などで快く協力してくださいました。3200発の花火は佐須出身の花火師に協力をお願いしました。

あがった瞬間のみなさんの笑顔を見て、「やってよかった！」と改めて感じました。初めてみんなで作った佐須づくしのイベントでしたから。一発目の花火の後に降り出した想定外の大雨で、「タダじゃ済まない佐須」をアピールできたかな！記憶に残る花火大会になったでしょうね(笑)。

今、地域を、そこに住む人だけで存続するのは難しい時代になっています。もしかしたら、島外の人や出身者の人たちに頼ることがでてくるかもしれません。だからこそ、私たちは動き始めなければいけないと思うんです。このまつりや佐須響心会がやっている活動を見て、他の地域の皆さんが「自分たちもやってみよう」「こんなことやりたい」で佐須響心会に相談してみよう、そんな風に「元気の



本番前日、杉村会長のスタッフTシャツに、メンバー一人ひとりが寄せ書きをしました。まつりの成功と佐須の今後を願って。

ネットワーク」が広がればと願います。「佐須を良くしよう」という思いが最終的に対馬が良くなる」ということに通ずると信じています。ご協力頂いた皆様本当にありがとうございます。そして一緒にやりとげたスタッフに「ありがとう」。

まつり10日前の最終ミーティング 前日は小茂

田浜神社で安全祈願 ステージづくりも自分たち

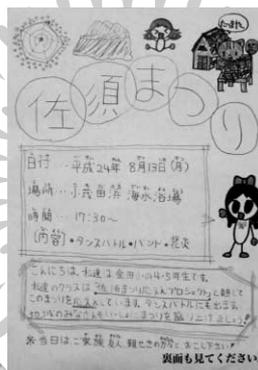
で女性だって負けてません 会場となった小

茂田浜海岸の漂着ゴミ回収にも一役

# くり100%の くり2012!!!



頭上に打ちあがった8号玉の花火は圧巻の迫力!!一発目の大歓声に地域への期待と喜びと誇りが伝わってきました。



金田小は「佐須まつり応援プロジェクト」と題し、チラシ製作も担当。



寄兼大夢くん  
(金田小1年)



手束真帆さん  
(阿連小5年)



横松華奈さん  
(大調小4年)

まつりの“うちわ”は、佐須地区内の金田・阿連・大調小学校の児童がデザイン。佐須地区全世帯に佐須響心会メンバーが手渡しました。

仕事を始めて13年目。地元で花火を打ち上げる夢を叶えることができました。これからも、佐須・対馬を盛り上げるために応援し続けます。



佐須出身の花火師:松久幸治さん  
(佐賀県唐津市)も佐須響心会島外会員の一人

佐須に40年ぶりの花火があがりました。これまでは厳原まで行かないと見れませんでしたから、嬉しいことです。地区に住む若い青年が地域おこしに力を注ぐ姿に頼もしさを感じました。



下村廣計さん(小茂田浜)



お盆の13日、会場は住民や帰省客でいっぱいです。

# 笑顔と手づ 佐須まつ

いっぱいお店があつてうれしかったです。学校のお姉ちゃんたちのダンスがかっこよかったし、花火大会がすごかったです。夏休みの絵に描きます。



西山希望さん  
(金田小2年)



佐須響心会の女性陣!!  
司会だってこなします!

実は弟夫婦が佐須響心会なんです。こんなに大がかりなまつりとは思っていませんでしたのでびっくりでした。地元で頑張ってくれることに感謝しています。こういうイベントがあると懐かしい人や、地元の方々と会って話せるのがうれしいですね。帰省のきっかけになります。

対馬に何回も来たけど  
今日が一番楽しい!



西田絵美さん・翔くん(大阪から帰省)

まつりが終わり佐須響心会に1通のハガキが届きました。「佐須の夜空に大輪の花、佐須まつり。“花火を地元の若者で”とのことを聞き、変化のないお盆にみんな心うきうき、雨にもかかわらず、みんなが夜空を見あげ、幾度と歓声と拍手、雨と涙で花火をたのしみました...」と。

過疎化・少子高齢化など地域が直面した様々な課題に全力で立ち向かっている佐須響心会。彼らは決して目立ちたい訳でもなく、褒められたい訳でもありません。みんなで地域に活力を! みんなで地域を笑顔に! 愛する故郷への思いが彼らを突き動かしているのです。

佐須の人たちがスポンサーにもなりプロデューサーにもなり、そして観客にもなった「佐須まつり」は、対馬の地域おこしの在り方を映しだしているようでした。